

## 紙の博物館

☎ 893-0886

- 開館時間 9:00～17:00  
※最終日のみ16:00終了の展示会あり
- 休館日 毎週月曜日  
(ただし、祝日は開館し翌日休館)

○第28回土佐和紙書き初め作品展  
1月26日(土)～2月3日(日)  
高知県手すき和紙協同組合が主催する「第28回土佐和紙書き初め大会」に参加した小中学生の入賞作品を展示します。

○吉井源太と日本製紙論  
～土佐和紙が追求した多様な機能～  
1月26日(土)～3月3日(日)  
吉井源太の著書「日本製紙論」や日記などから、時代が求めた紙の機能と、源太の製品開発への情熱に迫ります。

### 関連講演①

「吉井源太と日本製紙論  
－紙開発のエピソード－」

日時 2月23日(土) 14:30～

講師 村上 弥生 氏

(吉井源太研究家・本展監修)

紙の博物館所蔵の日記から、新しい紙の開発や著書出版に関連して、源太の人柄や明治という時代を伝えるエピソードの数々をご紹介します。

### 関連講演②

「よみがえる美術工芸品

－修復材料としての和紙－」

日時 2月3日(日) 14:00～

講師 田井東浩平 氏(公益財団法人土佐山内家宝物資料館学芸員)

土佐山内家伝来の掛軸「桜花に孔雀図」などの修復事例をとおして、伝統的な修復技法と修復材料としての役割・用途についてご紹介し

ます。  
※講演は入館料で聴講できます。  
(予約不要)

### ■関連ワークショップ

「実験してみよう! 源太さんのワザ」

日時 2月17日(日) 13:00～

ピフォー・アフターで紙への効果を実験できるワークショップ。テーマは、原料を叩く・原料のチリ取り・和紙ならではのネリ・にじみ止めなど。

定員 先着10名  
(要予約・小学生以上)

料金 420円(入館料と別途)

○第6回全国土佐和紙はがき絵展

2月9日(土)～4月7日(日)

土佐和紙の素晴らしさをより多くの方に知ってもらおうと開催している「全国土佐和紙はがき絵展」も6回目となりました。今回も、土佐和紙独特のあたたかな風合いを生かして描かれた作品が全国から多数寄せられています。全応募作品を展示いたします。

○第7回作業所ら・ら・らグループ展

「アートスティック・ボンバー」

3月1日(金)～3月13日(水)

「作業所ら・ら・ら」のメンバー17名が「芸術は爆発だ!」を合言葉に、制作した平面・立体作品を展示します。

## ギャラリー・コバ

☎ 893-1200

- 開館時間 9:00～17:00

◇第2回

たなの一閑張り・遊書書画教室展

2月1日(金)～2月3日(日)

南国市、棚野由加さんと高新文化教室(一閑張り教室)の生徒さん

の展示会です。一閑張りや手作り和雑貨・小物など約500点を展示販売します。

◇ほっこり楽しい手作りIRO・いろ三人展

2月7日(木)～2月11日(月)

南の風、手作り愛好家3人による展示会です。木工雑貨や日常使用のできる陶器、服、タペストリー、布小物など、約150点を展示販売します。

◇谷脇和隆(手づくり木工)・戸川博之(備前焼)・竹内暮雪(書)三人展

2月13日(水)～2月17日(日)

木工作品と備前焼と書の展示会です。自然の木目を生かした木工作品や、土味と焼成を追求した備前焼、額ものの書など、約220点を展示販売します。

◇ももたろうの生活骨董と布展

3月1日(金)～3月4日(月)

松山市、ももたろうの展示会です。“もったいない”で終わらずに、おしゃれにコーディネートするアドバイスを。生活骨董品・今着物・昔着物など、約300点を展示販売します。

◇古布・大旗手づくり・染物・絵画展

3月9日(土)～3月12日(火)

高知市、井本さんご夫婦の展示会です。古布、着物、幟旗などで作った、世界に一つしかないリメイク洋服や酒袋、骨董品、洋画、水墨画、焼物、筒書など約250点を展示販売します。



かみの町いの「ひな祭り」2月23日(土)・24日(日) 紙の博物館・ギャラリーコバ 入館料無料

### ■「漫画家三人 乱れ描き」

日時 2月24日(日) 10:00～13:00

マンガ王国土佐が誇る3名の漫画家が、いの町産の大きな土佐和紙をキャンバスにライブペインティングを行います。プロの漫画家が絵を描く様子を見ることが出来るまたとない機会です。是非、足をお運びください。

正木 秀尚 ーマサキ ヒデヒサー (香美市在住)

2013年1月号～『月刊!スピリッツ』(小学館)に高知市を舞台とした漫画「TOTEMSートーテムズ」を連載中  
村岡マサヒロ ームラオカ マサヒロ (いの町在住)

2004年4月～『高知新聞』夕刊に、祖父母と孫の日常を土佐弁で描いた4コマ漫画「きんこん土佐日記」を連載中  
森田 将文 ーモリタ マサフミー (東京都杉並区在住・香美市出身)

2008年「第20回黒潮マンガ大賞」(高知新聞社主催)を受賞、現在はイラスト・漫画・絵本など多彩なジャンルで活躍中